

スリランカ人の画家グナティラカさん（前列中央）を囲み、手作りお面を見せる南ヶ丘小の子どもたち＝合志市



合志市

お面作った 元気出た

南ヶ丘小4年 スリランカ人画家と交流

スリランカ人の画家
キンスリー・グナティ
ラカさん(60)が29日、
合志市幾久富の南ヶ丘
小を訪れ、4年生児童
と一緒に、段ボールを
使ったお面作りに取り
組んだ。

グナティラカさんは
県などが開く「海外ア
ーティスト招へい事業
in阿蘇」に参加する
など熊本と縁が深く、
今回、熊本地震に遭っ
た子どもたちを元気づ
けようと来日した。以
前から交流がある崇城
大芸術学部の特任教
子教授(63)の橋渡しで
同小を訪れた。

子どもたちは段ボ
ールに穴を開け、目や鼻
を表現。赤や黄、緑な
どの絵の具でカラフル
に色付けし、角を付け

たり、コーヒーフィ
ルターや紙ひもで装飾
したりして、思い思い
のお面を作った。

完成後、お面を手
に校庭に出て、全員で「夢
をかなえてドラえもん」
を歌った。平尾
裕君は「怖い感じのお
面にした。思い通りに
できてすごく楽しかつ
た」と満足そう。

グナティラカさんは
「芸術は子どもの自発
性や創造力を引き出す
手助けが大事。みんな
積極的に取り組んでく
れてうれしい」と目を
細めていた。

(宮崎あずさ)